

花 棉 源 資 要 重



線は量数の綿たし入輸の國我中度年二十和昭
萬六十四百八棉實 斤萬二百八千六億三十綿
圓萬六十百千五億八に實は額總入輸てしに斤
(りよ會覽展の棉るけ於に北蘇) る居てつ上に額多の

空の護を固くせよ

内務局防空課

一 支那空軍行動の豫想

今回の事變で支那軍の使つて居る飛行機は支那の國産品は一つもなく全部歐米から新鋭機を購入したものであるからサンプル空軍といはれて居る位で、飛行機其もの、性能は我國のものに比し遜色は無いのであらうが、之を操縦する人の報國の精神と技倆がまるで劣つて居るから常に我が空軍の爲に壓倒せられて居る。偶々我軍の占據地域を爆撃したり、或は我が空軍の爆撃に當り空中戦を交へたこともあるが積極的に活潑に行はれた事は無い様である。然し最近には蕪湖や蚌埠、杭州などを空襲したり、二月二十三日には我が臺灣の臺北、新竹兩州下を空襲したのであるが之は支那の空軍としても國民に對する面目もあらうし、又一つには操縦者で賞金目當に儲はれて居る外國人が居るといふ關係から行はれたものと思はれる。

三月一日大本營海軍部報道部の公表によれば事變發生以來二月末日迄に我が海軍の撃破せる支那飛行機数は八百四十八機といふ多數に上つて居り、此外に我が陸軍機によつて撃破せられたものもあるから支那空軍としては相當の打撃を受け苦心慘愴して外國から飛行機の補充を計り、國內では飛行士

の養成を急いで居るのであるが思つた様に補充は出來兼ねるだらうと思ふ。そこで今後に於ける支那空軍は如何なる活動をするかといふ事を考へると結局は今迄の程度を繰返す位が關の山で到底積極的
に華華しく堂々と攻勢に出る事は思ひもよらぬと思ふが、然し我軍の占據地域や内地、臺灣、朝鮮等の要地を空襲することは時々行はれ愈々苦しくなれば最後の足掻として思切つた事をやらぬとも限らぬ。果して然らば本島は距離の關係上から云つても今後度々空襲せらるゝ事があるものと考へねばならぬと思ふ。

二 本島官民の防空に就ての關心

從來内地に於ては各地方毎に防空演習を行ひ防空の訓練に努め來つたのであるが、法規に基き堂々と行ふことになつたのは防空法が公布せられてからで愈々の實施は昨年十月一日からであつた。之に比して本島に於ては一昨年八月に臺灣國民防衛規程が出來て之に基き全島統一的に防空及警備を實施し來つたのであるから、本島にも防空施行の要が認められ内地より約一箇月遅れ昨年十一月四日から施行せられたとは云へ實質的に云へば本島は内地より一年許り前から施行されて居るとも云へるのであつて、從て既に統制ある指導の下に防空に關しては若干の施設資材が整ひ訓練も出來て居る次第である。即ち本島は内地より一步先に統制ある防空訓練を初めたのと對岸とは一衣帶水の關係にあるので官民を通じ一般に防空に就ては相當の理解と關心を持つて居ることは御同慶に堪へぬ次第である。然しながら此防空なるものは経験が浅いことでもあり、又關係範圍が頗る廣汎であるから一般から云へば目下の程度では甚だ不十分で今後研究に研究を積まねば好結果は得られぬと考へられる。

三 今後に於ける本島の防空

本島に於ける防空は前述の通り昭和十一年から手を着け初めたのであるが施設資材や訓練も未だ未だ甚だ不十分で之から餘程力を注がねばならぬと思ふ。

訓練は西臺灣は警報傳達、燈火管制、交通整理等は相當訓練せられて居るが其他の防火、防毒、避難、救護等は未だ十分訓練の回数を重ねて居らぬ處がある。東臺灣の方は各訓練項目共一通り訓練せられて居る様であるが之とても未だ十分とは申されぬ。

最も大切な防空監視哨や監視船の勤務も更に訓練の程度を向上する要がある。一般市民の防空訓練も未だ大に向上する必要があると思ふ。防空訓練實施の状況を見ると防空訓練は防空關係勤務者の訓練で一般の市民は餘り關係はないといふ風な顔をして見物して居る人もある様であるが、今後は「防空は先づ家庭から」といふ主義で行はねばならぬ。そこで家庭防空群といふ様な組織を作る事は最も必要であると思ふ。

都市防空に就ても現在の臺灣都市を防空の爲如何に改造するや、今後は如何なる計畫を以て建設するを適當とするやを十分研究着々其の具現を圖らねばならぬと思ふ。

序ながら最近では市民の積極防空として軍部の指導を受けて必要なる高射砲、高射機關銃、照空燈、聽音機等を備付け義勇軍の如きもので之が取扱をするといふ話もあることを附加へて置く。

四 防空上市民の心得

◎空襲警報が発せられたならば

1. 外出を見合せ、家の近所に居る者は早く家庭に歸れ。
2. 火事が起つた時の用意に水や砂を準備せよ。
3. 晝なれば夜の燈火管制の準備をせよ。
4. 近所、隣と申合せ誰か一人門の外に出て焼夷弾や毒瓦斯弾が落下せぬかを見張せよ。

◎爆弾空襲を受けたならば

1. 家に居る者は外に出ては危険である、戸や窓は速に締めよ。
2. 外出中の者は附近の堅固な家に入れてもらへ。
3. 附近に家のない場合は路傍の窪地や濠の内に入れ。
4. 一箇所に群集するは危険である。
5. 家の内でも硝子窓や扉の附近は危険である。

◎瓦斯空襲を受けたならば

1. 毒瓦斯の襲來を感じた者は直ちに警察官や防衛團に知らせること。
2. 瓦斯彈落下點の附近及風下の者は風上又は側方に避ける事。
3. 家屋内にあるものは豫め防毒室の準備があれば其内に入り窓、戸、障子を締める事。
4. 外出者は最寄の避難所に、入れなければ風上の方へ避難せよ。
5. 總て高い丘や高層建築物は瓦斯の避難所としては安全である。

6. 防毒面を有する者は速に之を使用し、若し持つて居らぬ者は手拭等水に濕して鼻や口を覆ひ一時呼吸を止めて瓦斯地帯を速に通過して避難する事。

7. 瓦斯中毒を感じた者は激動を避けて徐ろに救護班の手當を受ける事。

○焼夷弾が落下したならば

1. 見張をして居る者は早く之を見付けて知らせよ。
2. 焼夷弾は落ちた途端にシャベルで掘つて廣庭に投げよ、此時防火被服か濡衣、濡布等で防熱の手段を講じて焼夷弾に近づく要がある。
3. 濡布圍、砂、壘等で一時火炎を抑へよ。
4. バケツ、消火器、水道用ホース等で焼夷弾の圍りの焼け易いものに注水せよ、焼夷弾は高熱であるから直接水を掛けても効果がないのみならず、却て悪い結果を生ずる。

○避難する時は

自分の家が火事になつたり毒瓦斯空襲を受けて止むを得ず避難せねばならぬ者は家財道具などは後廻しにして老幼婦女が第一である。
携帯品はなるべく少くすること、之が爲平時から非常時に持出す大切なものを揃へて一定の場所に藏つて置け。食糧品を可成的多く携帯せよ。

○平時より準備すべきものは

1. 遮光幕
2. 管制電球
3. 砂
4. バケツ(水)
5. マツチ
6. 懐中電燈
7. ロック
8. 消火器
9. 簡易防毒面
10. 目張テープ(防毒室用)

五 結 言

今迄述べた事は支那の空軍を對象としたのであるが、今後の國際情勢の變化は全く逆睹を許さないから吾々は日に月に進歩する航空機の事を考へねばならぬ。今では猛烈な破壊力と慘澹たる粉碎性を持つ恐ろしい爆弾を抱いた爆撃機の航続距離が三〇〇〇軒から四〇〇〇軒にも及ぶ様になつたから日本海や東支那海などは箱庭の小池の様なもので朝食前の一跨ぎに翔破するだらうし、又航空母艦のあ

る事も忘れてはならぬ。

之を要するに吾々は絶えず列強空軍の實情を研究し之に對する防空の研究訓練、施設資材の整備を

怠つてはならぬのである。

臺灣の酒

專賣局酒課

八

臺灣で酒の專賣を始めたのは今年から十七年前の大正十一年七月一日からであつて、本島五專賣の内最も歴史が新しいのである。酒專賣實施當初世界に類例の少ない酒專賣は果して成功するかどう異論も多かつた様であるが、當事者及關係者の並々ならぬ努力と協力に依つて、實施後の成績は我國最初の企にも拘らず年々順調な發展飛躍を遂げ督府財政に寄與する一面品質劣悪な酒を淘汰し優良なものを供給して大衆の嗜好に應へ且つ島民の保健衛生に貢獻し來つた次第であるが、更に昭和十年度からは島内供給に止らず内地市場に進出することとなつた。次に之等の點に付て項を分けて説述しよう。

一 臺灣財政に貢獻する酒收入

酒の賣渡成績は專賣實施以來躍進に躍進を續けて居る。即ち專賣實施當初の大正十一年度は年度半の七月からの實施であり且民間持越酒も多かつた關係もあつて、僅に賣渡額は六百四十九萬五千五百二十六圓に過ぎなかつたものが、其の後一般經濟界の影響を受けて多少の消長は免れなかつたが大體

順調に發展し、昭和十一年度の賣渡額は專賣實施初年度の三十七割強の二千四百十五萬一千二十八圓に達し專賣開始以來の最高記録を示し、尙本年度は更に増加して二千五百五十萬圓を突破する見込である。

昭和十一年度の酒收入は二千三百三萬三千八百八十八圓で、同年度の五專賣收入總額五千六百九十六萬九千四百八十一圓に對し四割四厘を占め、又同年度總督府經常收入一億二千七百二十三萬一千六百二十九圓に對しては一割八分一厘に相當し臺灣特別會計歳入の内非常に大きな部分を有つて居る。されば酒收入は臺灣財政上に大きな役割を果たし臺灣統治に貢獻して居るのであつて、酒收入の消長は直に督府歳計に影響する所が大である。

二 需要者の嗜好に適應

酒は嗜好品であるから需要者の嗜好を尊重して本島在住者の欲する酒を供給することを眼目とし、又時代の變遷に依る嗜好の推移に着目して其の誘導に當つて居る。品質の點に付ても充分注意し清酒、麥酒の如きは品質低下し易く長期の貯藏困難なるに加へ、殊に本島は高温多濕にして品質の保持容易ならざる事情なるに鑑み配給の迅速を期して、内地から移入する之等の酒は毎月二回移入し基隆及高雄の二箇所から陸揚げしたものを直に見本酒と比較し、尙分析検査を爲し合格したものを全島に配給するのであつて、出來得る限り良質新鮮なものを供給することに心掛けてゐるのである。検査用に供する見本酒は豫め納入者から見本酒を提出させ、別に同一名柄で内地市場に販賣されて居る

九

ものを小賣商から買集めて納入者から提出した見本酒と比較検査をなし、内地市場に販賣されて居るものと同等であるか又は夫れ以上品質良好なものでなければ見本酒を取替へさせて居るから臺灣に移入されて居る酒は内地市場に販賣されてゐる酒に較べ優るとも決して劣る様なことはないのである。然るに内地で飲む清酒は可味が臺灣の酒は不味と批評する者があるが、同じ清酒でも温度や湿度の高い時に飲むのは概して不味で、之に反して乾燥した場所でも然かも寒い時に飲めば非常に可味である。同じ清酒が嘉義と阿里山とは味に格段の相違があるのは事實であつて、結局臺灣では湿度や氣温の條件が不良であることが、清酒が不味と感じられる大きな原因だと思はれる。

三 島民の保健衛生上の考慮

大正十一年の酒專賣實施直前の島内酒類の造石高は約十八萬石であつて、其の酒類は米酒、糖蜜酒、紅酒、藥酒を主とするものであつた。島内に散在した二百有餘の酒造場に於ては雜然として原始的な方法と設備によつて製造された結果、其の品質に至つては洵に劣悪なものが多く、今日からは想像も及ばぬものが市場に濶歩して居たので、島民の保健衛生上誠に憂慮すべき状態にあつた。

專賣實施後は工場設備に大改善を加へ、品質の統一を圖り、各工場には試験室を附屬せしめて品質其の他嚴密な試験を施して居る。又臺灣の清酒はサルチル酸が入つてゐるから、頭にくるし不味だと言ふ者が有る様であるが、サルチル酸は内務省の規定があつて、規定量以上は絶対入れる事は出来ぬことになつて居る。臺灣だからと言つて特に多く入れる事は絶対に許されるものではない。當局では

移入する都度嚴重なる検査をして居るから此の心配は全く杞憂に過ぎない。サルチル酸は内務省の規定量では決して身體を害したり、人間の味覺に感じたり頭が痛くなつたりすることはないのである。

四 臺灣酒の内地進出

近年内地の大都市に支那料理が素晴らしい勢で普及し、支那料理と共に支那酒の需要も年々増加し、毎年多量の支那酒を輸入して居つたのである。

當局では此の事情に鑑み臺灣に於て臺灣酒類出港税令を制定し、内地酒造業者を壓迫することのない様内地の酒精含有飲料税法に規定する税率と同率の出港税を賦課することに依つて、當局製支那酒を内地に移出が出来る様になつたので、全国的に販賣機關を持つ株式会社明治屋をして内地市場に一手販賣をなさしむることとし、昭和十年六月から移出を初め内地市場に於て支那酒と競争することになつた。當局製支那酒は内地では豫想以上の好評であつたが、何分輸入支那酒の地盤に喰入る事は容易な業ではなつたが、漸次宣傳賣込に功を奏し、移出の増加を見一面貿易の改善にも役立つて來たのである。

偶々昨年七月支那事變勃發し、以來支那酒の輸入全く杜絶したので、當局製品の獨舞臺となり俄然移出が激増し目覺しい進出を見て居る。現在内地に移出されて居る酒は老酒の蘭英、玉友と糯米酒、五加皮酒、ボンカノ一の五種類であるが、更に賣擴めに一段の努力を拂はれ益々臺灣産業將來の發展を期すべきだと思ふ。

五 消費節約と酒消費の問題

今次事變は東洋平和を根本的に解決する爲に起された聖戰であつて、我軍は偉大なる戦果を收めつつあるが、此の大目的達成には國民は等しく堅忍不拔如何なる犠牲をも忍び、如何なる困苦缺乏をも克服して長期に亘る持久的對策に協力一致する覺悟が必要であつて、國民精神總動員は全國民に要求せられ、其の目標の一つとして消費節約が叫ばれ全國的運動として展開されて居る。

今回の消費節約運動の眼目は、全く戰闘用資材となるべき物資、次に輸入品並に輸入原料を以て製造された物資の二方面に對してのみ集中されて居るのであつて、所謂選擇的消費節約と云ふ所に重點があるのである。若し大雜把に總ての物に對して節約をすることになると、其の影響の及ぶ處市況を不常に萎靡沈衰せしめ、國民所得の根源を枯らし、延ては戰時體制下に於ける國民全部の耐久力を消滅せしめる虞がある。即ち國內に不足しない物資又國內原料を以て生産する物資は平素の通り濫費に亘らない限り消費して差支ないのである。酒は其の大部分は島内原料並に内地原料を以て製造されたものであり、又内地の製品を移入したものが大部分であつて外國から輸入したものも幾分あるが、國策に順應して事變以來新規には輸入を停止して居る。事變前に輸入した在庫洋酒類は尙相當長期に亘つて需要に應じ得る數量は持つて居る。所謂酒は完全に今回の選擇的消費節約の圏外に在るものであつて、酒の收入は督府財政に至大の關係を持つて居り、愛國公債が戰時財政に寄與する効果と同様に酒專賣の益金は臺灣財政上に大きな寄與をなし、臺灣統治上に要する支辨に當つて居るのである。

地方情報報

○陸軍記念日行事の盛況

臺北州臨時情報部

事變下の陸軍記念日を迎へて州民は感激を新にすると共にその赤心物々たるものあり、州下一齊に開催せられたる各種行事は各地共盛況を極め歴史約感銘を與へたるが、臺北、基隆兩市に於ける盛況を以てその一端を窺はん。

(一) 臺北市

一 陸軍墓地參拜

臺灣軍司令部の指導を以て午前九時より圓山陸軍墓地參拜を實施したるが參加團體軍隊外三九團體約五千名及び一般並に婦人團體外三十團體約四千名の多數に上れり。

二 圓山運動場に於ける行事

臺灣軍司令部主催を以て次の通り實施せらる。

1 長距離競争

全市中等學校生徒約五千名參加し午前九時三十分より臺北市郊外約十六軒の距離を團體駢歩を行ひ、又午前十時四分、臺北市、基隆市外州下各郡聯合青年團選手の圓山運動場より新北投驛往復個人

競走を行ひたるが参加者は各市郡の精銳を選び約五十名に達せり。

2 模 擬 戦

午前十時五分より歩兵第一聯隊補充隊及山砲兵聯隊補充隊の精銳を以て「トーチカ」を有する假裝敵陣地に對する歩砲兵及戰車聯合の壯烈なる模擬戦を展開突撃に引續き歩兵聯隊及在郷軍人の二班に分れ銃劍術、軍刀術の野試合を實施せり。

3 分 列 式

午前十時三十分より軍司令官に對し臺北市内青年訓練所及男女青年團約三、五〇〇名の勇壯なる分列式を舉行せり。

4 記 念 講 演

午前十一時十分より左記記念講演を實施、尙本講演はラヂオに依り全島中繼放送せらる。

1 日露戰爭を回顧して青年諸君に告ぐ 臺灣軍司令部附歩兵大佐 萩原正秀

2 國家總動員と本島青年 臺灣總督府調査課長 木原圓次

3 多幸なる現代青年に告ぐ 臺北州會議員 三卷俊夫

最後に臺灣軍司令官發聲の下に大元帥陛下萬歲及び臺灣總督府總務長官代理田端殖産局長發聲の下に大日本帝國萬歲を三唱して解散せり。

三 野 宴

臺灣軍司令部主催を以て午後零時三十分より陸軍借行社に於て日露戰役從軍者及主なる軍官民を招

待簡素なる野宴を催し皇國戰捷を慶祝せり。

四 在郷軍人會行事

臺北市聯合分會は臺灣軍司令部指導に依り午前九時より圓山陸軍墓地參拜、一部は銃劍術、軍刀術野試合に参加其他は圓山運動場に於ける行事を參觀せり。

臺北市城南分會は召集演習實施、午前六時武德殿前廣場に集合、午前七時三十分臺灣神社に於て皇居遙拜、皇軍武運長久祈願を爲し聯合分會に合流尙午後七時三十分より高等學校講堂に於て左記講演會を實施せり。

皇道精神に就て

駒澤大學名譽總長

大森禪戒師

現時局下に於ける國民の踏むべき道に就て

曹洞宗布教總監

高田良三

五 演 藝

臺灣軍司令部主催を以て午後七時より臺北市公會堂に於て軍事氣分を多分に加味せられたる奉祝演藝大會を一般に公開、集る者二千餘名に達し多大の感動を與へ午後十時四十分盛況裡に終了せり。

(二) 基隆市

一 防空演習

本演習實施に先ち「燈火管制訓練實施に就て」と題する注意書を市内全般に配付訓練の完璧を期したるが、防衛團幹部並團員の熱心なる指導と一面市民が先般の敵機空襲に依る被害狀況に鑑み防空の忽にすべからざるを認識したる結果其の成績特に良好にして防空上多大の効果あり。

而して本演習に於ける警報傳達はサイレン吹鳴に依る外豫て設備中の半鐘打鳴を兼ね實施訓練せり。

二 戦役記念碑清掃参拜

郷軍及防衛團に於て分擔夫々戦役記念碑の清掃を爲すと共に多數参拜せり。

三 記念式典並市中行進

午前十時三十分より高砂公園に於て記念式典を舉行したるが、折柄の小降にも不拘郷軍、各學校、消防組、青訓、官公衛、會社、組合、防衛團、その他各種團體、一般市民等續々参列し定刻には約一萬餘集合、開式、國旗掲揚、國歌合唱、皇居遙拜、式辭(市尹朗讀)天皇陛下萬歲三唱(佐々木部隊長發聲)國旗降納、閉式の順に盛大に舉行し終つて参加全員市中行進を爲し市役所前に於て各團體毎に衛戍司令官に對し頭右の敬禮を爲し公會堂下にて解散せり。

四 武道大會

柔道、弓術、劍道、銃劍術を何れも基隆演武場に於て舉行したるが多數の参加者と觀覽者あり、参加者は何れも熟練せる技倆を奮ひ堂々と試合し觀覽者をして深く感激せしめ本記念日を有意義ならしめたり。

五 講演

午後七時三十分より公會堂に於て左の通り軍事講演を實施したるが折柄の豪雨にも不拘聴衆約五百名あり、講演者は有益なる諸情況を熱心に講話せられたるため聴衆は何れも謹聽、多大の感動を受けたり。

たり。

1 勝つて兜の緒を締めよ

2 上海戦に参加して

佐々木砲兵中佐
寺川歩兵大尉

六 傷痍軍人並遺家族慰問

各戦役に於ける傷痍軍人

七名

今次事變に於ける戦死者遺族

七名

同

戦傷者家族

一三名

計 二七名

三月十日基隆市各課長をして市内在住右該當者を訪問せしめ菓子料二圓宛贈呈し慰問せり。

七 國防思想普及活動寫真映寫

豪雨中にも不拘約六百名の觀覽者あり、國防思想普及上多大の効果を收めたり。

○州民の赤誠

新竹州臨時情報部

一 國民精神總動員

第二次強調週間に現れた新竹州民の赤誠

新竹州下に於ける國民精神總動員第二次強調週間の諸行事は赤城知事以下舉州一致の總動員大運

一八
動であつたが、それ丈その成果も大いに見えるべきものがあつた。強調週間第二日目「時局生活反省の日」、第四日目「出征將兵への感謝と殉國勇士への讃仰の日」、第五日目「非常時經濟への協力の日」に於ける成績は恤兵金六千四百九十六圓二十八錢、廢品回收による國防献金千九百九十三圓九十錢、慰問袋二千四百四袋に達し州民の赤誠の程を物語つて居る。

二 昭和十二年度後期分納税成績

近時一般大衆の納税に對する理解は時局の認識と共に更に一段と向上し銃後の奉公は先づ納税義務を果たすにありとの觀念普及し、本期地租其の他の納期に當りては當局の熱誠なる指導と相俟つて現實に反映し州下殆んど完納に近く次の通り驚異的記録を示すに至れり。

調定濟額總計 百二十萬二千七百五十九圓七十七錢

收入 濟 百十九萬九千二百六十九圓三十二錢

收入 未濟 三千四百九十四圓四十五錢

收入 歩合 ○・九九七

三 寺廟神明會整理

國民精神總動員並に皇民化運動の趣旨を體し新竹市に於ては市内寺廟及神明會を廢合し、その所屬財産を以て皇紀二千六百年記念事業新竹市教化財團を組織せんがため同財團設立委員會發會式を舉行せり。

寺廟整理方針(昭和十三年二月廿一日 寺廟部委員會決議)

- 一 内外媽祖廟を合併すること
- 二 内媽祖廟の建物を取毀し神像を外媽祖廟に移祀すること
- 三 孔子廟、關帝廟及文昌廟を合併すること
- 四 孔子廟を移轉すること
- 五 關帝廟の建物を取毀し神像は文昌公の神像と共に孔子廟に移して祀ること
- 六 城隍廟及地藏王廟を合併すること
- 七 地藏王廟の建物を取毀し、神像を城隍廟に移祀すること
- 八 地藏王廟内の五穀爺、東嶽大帝を金闕殿に移祀すること
- 九 大衆廟を移轉すること
- 十 有應公廟、聖媽廟は全部廢止のこと
- 十一 其他の寺廟に就ては同種類のを一箇所に合併すること

○支那事變に關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 皇民化徹底方策

本島に於ける舊慣陋習の打破改善指導は本島統治上更に本島人の物心兩方面に於ける皇民化上最も重要にして近時各地方共遂次之が改善に努めつつあるも、現下の非常時局に鑑み皇民化の促進上是等舊慣に依る陋習宗教寺廟齋堂等の取締り打破改善及指導の最も緊要なるを認め、本州に於ては二月二十四日打合會議の結果之が徹底方に關し適切なる具體的方策の樹立指導に努めつつあり。

一 正廳改善に關する件

1. 生活の中心を神宮大麻とし之を神棚に納め家屋内の最も尊嚴なる場所に奉齋す。
2. 祖靈舎又は位牌は中央卓上向つて左側に安置す。
3. 國旗箱は中央卓上向つて右側に置く。
4. 觀音像等宗教的畫像は別室又は中央卓以外の適當なる場所に安置す。
5. 神棚の後壁には掛軸を掛けざるを理想とするも必要あらば適當なるものを掛くるも可なり。
6. 掛軸は大麻奉齋の趣旨を高潮するものたるべく裝飾に流れ又は御神體を偶像化するが如きものは之を排す。
7. 三界公燈、天燈は除去すること。

二 位牌更新に關する件

祖靈舎又は新位牌に改むること。

三 服装の改善に關する件

1. 服装の改善を目標とし男子には國防色の洋服、女子には上着と「スカート」のあるものを奨勵す

ること。

2. 和服は最善の服装に非ず、今後改善の餘地ありと認むるも皇國民的情操涵養に資するところ大なるを以て餘裕ある家庭には浴衣、子供の和服、女子の式服を奨勵すること。

四 家屋改善に關する件

臺灣に於ける從來の建築様式の廢止を目標とし改築の場合には衛生上の見地より又皇民化生活の見地より適當と認めらるゝ様式に改むること。

五 個人便所浴室に關する件

1. 便所は住宅と隣接せしめ夜間使用可能なる如くすること。
2. 浴室は五右衛門風呂等を設置せしめ入浴を奨勵すること。

六 演劇講古に關する件

1. 皇國民的内容の改良劇の助成及青年劇の奨勵を行ふこと。
2. 日本歴史上の美談物語を内容とせる紙芝居を奨勵すること。

七 廟の改築に關する件

無籍の廟は此の際之を整理すること。

八 道士に關する件

國民精神涵養上支障ありと認むるにより指導又は禁遏の方法につき研究中なり。

二 國民精神總動員徹底と部落振興會の指導強化

本州下國民精神總動員徹底の實行單位たる部落振興會は其の數既に八百三十五箇所の多きに達し、今や州下主要部落には殆んど其の設立を見るに至り、何れも内臺一元の理想部落完成に向ひ自發的活動をなし一面又地方行政の末端細胞組織たる機能を發揮し州治上に貢獻する所甚大なるものがあるが、尙現下の時局と本島の特殊性とに鑑み一層之が指導の強化徹底を圖るの緊要なるを認め三月七日本州指定の下に東石郡主催部落振興研究發表會を開催せるが、參加人員無慮九百餘名に達し郡當局並に部落振興會關係者の貴重なる研究發表、各部落の實地視察等に依り將來部落振興會經營指導上裨益する所尠少なからざるものありたり。

三 陸軍記念日行事

日露戦役に於ける先輩の苦難と偉業とを回顧すると共に現在の重大時局を克服すべき國民の態度を闡明し舉國一致國家總動員の強化と軍備の充實とに向ひ邁進するの覺悟を新ならしむる方針の下に次の通り各種行事を舉行せるが何れも多大の成果を收めたり。

行 事	場 所	時 間	参 加 團 體
陸軍墓地参拜	陸軍墓地	前八、〇〇〇—前八、三〇〇	軍隊學校諸團體
摸擬戰	競馬場	前一〇、〇〇〇—前一〇、〇〇〇	軍隊及在郷軍人會
分列式	放送局前街路	前一、三〇〇—後二、三〇〇	學校諸團體
野宴	臺南神社外苑	後一、三〇〇—後一、三〇〇	一般有志
講演及活動寫眞	南門小學校講堂	後七、三〇〇—一〇、三〇〇	一般

○事變下の陸軍記念日

澎湖廳臨時情報部

一 陸軍記念日行事

第三十三回陸軍記念日を迎ふるに當り時局の重大性に鑑み國民精神總動員の趣旨を體得し舉國一致盡忠報國の念を新にせんが爲次の通り記念行事を施行せり。

1 陸軍記念日軍事講演

陸軍記念日軍事講演は陸軍將校の派遣を得て實施せるが、參集せる聽衆二千七百三十名の多きに達し、特に事變下に當り軍事思想普及に多大の効果を收め感激裡に終了せり。

2 愛國運動

各官公署團體職員、學校生徒兒童、一般民約二千五百名は午前九時三十分澎湖神社に集合、神社を參拜し、次で陸軍墓地参拜の上市内旗行列を舉行せり。

3 記念演習

陸軍部隊に於ては觀音亭附近に於て野砲及機關銃の實彈射撃を實施せり。尙國防婦人會員にも機關銃射撃を爲さしめたり。

4 閱 團 式

午後二時より馬公第一公學校々庭に於て防衛團(特殊防衛團を含む)消防組、壯丁團、青年團、女子青年團、愛國婦人會、國防婦人會、救援婦女團、水産専修學校、馬公尋常高等小學校、馬公第一公學校、同第二公學校千九百九十五名に對し林田廳長の閲團式を舉行せり。

5 聯合體育會

午後三時より馬公第一公學校々庭に於て閲團式參加團體の聯合體育會を舉行せり。

二 皇軍將士慰問の「愛國館」

愛國婦人會廳支部に於ては三月一日より四日迄會員の手に依り愛國館を作り三月五日當地駐屯陸海軍將士及傷病兵慰問として贈呈せり。

三 出征軍夫感想發表會

本島人主婦に對する皇民化の一端として、曩に出征し皇軍と共に活躍をなし歸郷したる軍夫をして其の活動狀況、體驗したる事項、支那民衆の狀態等の感想を發表せしむる爲感想發表會を開催し多大の効果を收めたり。

海外情報報

臨時情報部

◎ 海外に於ける排日ボイコットの近況

一 香港に於て抗日排日貨を種にする恐喝惡漢

香港在留支那商人某は邦人と取引をしたとの云ひが、りて抗日團委員の張某に少なからざる金品を取られ尙も執拗に要求せられるので憤慨し訴訟を起し其の結果、前記惡漢張某は罰金を科せられると共に國外追放の判決を受ける等の珍風景を現出してゐる。其他之種の惡漢横行し當局は之が取締に狂奔しつつあり。

二 マニラ華僑の排日貨運動は漸次下火となれり

マニラ華僑の日貨排斥運動は一時惡化の様態にて一、二之が煽動者の策動を見たるも其後右實行方法に關し委員會の決議纏らず有耶無耶の内に時日を経過し、最近に至りては同運動の熱も下り、此の儘時日経過と共に自然消滅するに非ずやと觀測するもの多く、尙獻金運動も同様下火となりたり。一集金人の談によれば同人の手にて一箇月三千比餘も集金したる記録あるも最近にては四、五百比の集金も出來ずとの事である。

如斯排日貨運動は抗日運動と共に漸次沈靜の様態にて突發事件無き限り早晚終熄するに非ずやと見

らるゝも尙ほ大口取引に關しては、日支商人雙方共萬一を慮り取引を警戒、見送り居るもの多く取引量全體より見て舊に復する迄には尙事件一段と落着するを要し、相當時日を要するに非ずやと見らる。

三 新嘉坡に於て對日ポイコツトを食物にする輩

新嘉坡に於ては對日ポイコツトに名を借りインキ師の脅迫乃至僞名に依る金錢詐取が續出し華僑間には抗日救國團體に威信問題等も惹起せんとする形勢に至り彼等破廉恥漢に對する非常制裁手段が決議されたる模様にて、抗日團體の内紛軋轢等は益々激化せんとする形勢で歩調揃はず珍景を呈して居る。

◎ 支那共產黨の矛盾

漢口發電に依れば舊支那共產軍現第八路軍と國民黨との關係は必しも緊密ではない。一部の理由は蘇聯の援助が豫期された程でも無い點にある。共產黨有力者自らこの際蘇聯の参加は却て悪影響があると公言してゐる。即ち蘇聯の介入は獨伊の日本側参加となり且英米の同情をも失ふといふ點に在る。今日に於ては最早支那中央政府の左傾といふ事は問題とされてゐない。

◎ 廣東政府の財政極度に逼迫

廣東政府は財政極度に逼迫の爲之が對策として舊年末來各税を通じ大増率を行ひ收入増加に苦心しつつあるが今回國防充實を外として新に國防公債一千萬元の發行を中央政府へ申請せり。救國公債の賣行捗々しから前途悲觀され居る今日新公債の發行にはより以上の悲觀説あり、無用の足掻を續くる哀れな状態なり。

美談集録

新竹州臨時情報部

◎ 小國民の赤心

(一) 新竹郡新埔小學校五六年生の義舉

烏袋耕一外十名の兒童は豫て恤兵の資に充てんと小使錢を節約してゐた處此の程相當の額に達したので二月十八日新埔分室に出頭して金五圓に次の様な依頼狀を添附して提出した。

依頼 狀 (原文のまま)

我國は今支那と戦つて居ますが、皇室に於かせられては 天皇 皇后兩陛下を始め奉り各皇族の方々が日夜御精勵下さると云ふことをもれ承つて有難く又もつたいなく思つて居ります。

それに無法な支那兵は正義を以て東洋の平和の爲に盡す日本の眞心をいつまでも悟らないので、日本の兵隊さんは夏は暑く又冬は非常に寒い北支、中支、南支で命を的にして働いて下さると云ふ事は受持先生から御話を承る度毎に何時もく感激して居ります。

私達はこんな場合に尙何んの心配なく幸福に學校で學ぶことの出來ますのは偏へに 天皇陛下の御稜威と兵隊さん方の御働きによるものです。それで此の御恩の萬分の一でも御返したいと思ふ考へから私達五、六年一同十一人が申合せて平素の無駄使を省き、又頂いた小使錢を貯へる事に致し

まして漸くこれだけの金額となりました。ほんの僅少ですけれども私達の真心のこもつたものから兵隊さん方の慰問に御使ひ下さいましたら私達の幸ひで御座います。何うぞよろしく御取り計らひ下さい。

(二) 新竹郡舊港庄猫見錠公學校二年生の真心

小國民の赤誠に燃ゆる二年生一同は豫てから小使錢を節約したものを集めて居た處漸く三圓五十一錢に達したので受持教員に恤兵金として寄贈方を申出でたので同教員から所轄派出所に手續方を依頼するところが有つた。

次代の國運を双肩に背負て起たねばならぬ此等の小國民達が赤誠を籠めたる慰問の金額はたとへ少額であつても御國の爲北支、中南支の山野に馳驅する將兵の心を慰むるに充分の價值があらう。

未教育青年總動員美談

竹東郡寶山庄新城宇新城三九四番地盧傳進氏は赤貧にして長男盧阿徳、次男盧阿和(目下阿里山に材木運搬苦力として出稼中)よりの仕送りに依り生計を營んで居るが、去る二月九日竹東郡寶山庄役場より來る二月十二日に實施する未教育青年總動員訓練に就て二人の息の召集を受けるや直ちに翌十日竹南郡頭分郵便局に來て兩名に對し至急歸宅方打電した。然るに翌十一日同局より阿里山は蕃地に電報は配達不可能なる爲兩名の下山する迄局に留め置く旨の通知に接するや同役場及受持派出所を訪問し、兩名を呼寄せ訓練を受けさせようと奔走したが配達不可能の爲残念ながら十二日の召集に出席させることが出来ない、甚だ残念ですが其點了解して下さい」と届出でた後、公學校教育を受けなかつた兩名に日本國民としての訓練を受けさせないのは國家に對し甚だ申譯ない事であるとして態々阿

里山迄赴き雇主たる劉黎泉なる者より十二日の召集に出席出来なかつた理由書を貰ひ受けて兩名を同伴去る二月十三日歸來し二月十五、十六兩日實施せられた同訓練に出席させ無事終了させる事が出来た。これは一人盧氏のみ喜びではなく、我が臺灣の喜である。

感心な青年團員

出征軍夫留守宅への援助

竹東街二重埔青年團員會敬會、會敬嶽、會敬勳、吳廷漢の四名は申し合せて竹東街竹東字竹東から第一回に應召出征した軍夫官徳彬の留守宅を訪れ去る二月二十三日及二十六日の二日間に亘り田植準備の爲水田整地の勞力奉仕をしたが一般地方民は皆同青年團員の此の奇特な行爲を賞揚してゐる。

熱誠に燃ゆる指導者の善行

(一) 桃園郡龜山庄新路坑八八番地西島菊太郎氏は新竹州警察官吏なるが國民精神強調週間に當つては能く保甲長に其の趣旨を徹底させ、出征軍人、軍夫の出征祝賀會或は之が慰問に關しても大いに努力し、部落振興會、保甲會議、時局懇談會等に於ても時局の真相と島民の立場に就て親切に訓話し數次に亘る戦捷祝賀會、武運長久祈願祭に於ても氏の指導宜しきを得て何れも成績良好であつた。又皇民化運動に對しても氏は全精神打込んで盡力した。一例を挙げると正廳改善に在來の掛軸を各正廳から取脱し又在來の神様を焼納させると共に一方神棚、八ッ足、神宮掛軸、祭器等の配付や大麻の頒布等に就ても盡力した。神棚奉齋に就ては

(イ) 神棚の左右は祖先の位牌と國旗袋の外は絶対に物を置かざること

ロ) 神棚の上下周囲を清潔にし不要物を除去すること
ハ) 毎朝夕神棚参拜をなし榊を供へること

を主として指導して来た。又神宮並皇居遙拜又は神社参拜等に就ても能く其の趣旨を徹底さす様指導し其の外時間の嚴守にも、能率の増進にも大いに努め國語普及に就ては摺換用語の國語化、地名の國語讀み其の他簡單用語を漸次國語で話す様に指導したり次に舊曆を廢し新曆にすることを實際に指導し、門松、注連繩を張り、鏡餅をつくる等非常に徹底した指導振を發揮してゐる。一月一日には無慮五〇〇名の者が學校へ來て拜賀式に參列した等は開校以來前例のないことであつた。又多數部落民が元旦を祝ひつつ皇室の彌榮と皇軍の武運長久を祈る様に實行せしめつつあることは實に氏の日頃の努力の賜に外ならないものである。氏は又出生兒を凡て内地式に命名すること、或は臺灣服を改善し和洋服を着用する事にも大いに努力し居り、此の非常時局を能く認識し確固不動なる指導精神と熱を以て能く部落民を皇民化する努力に對して全部落民は皆感激を以て迎へて居る。

(二) 桃園郡龜山公學校教員心得吉田啓氏は一月二十三日(日曜日)擔任の同校第四學年兒童代表三名と共に〇〇陸軍病院に戦傷者慰問を爲したが其の際同郡龜山庄出身の松原悲智朗君に金一封を慰問金として贈つた。同教員は事變勃發以來銃後の務として率先して放課後及休日を利用して兒童をして竹箒作り其の他の作業を爲さしめ、得たる収益にして今迄數回兒童名義を以て國防献金を爲したこともあり前記の金も最近の収益金より慰問金として贈呈したもので時局柄教員の實際的指導方針は最も適切なものとして之を知る者は皆感激し好評を博してゐる。

附 錄

事 變 日 誌

臨 時 情 報 部

三月一日

1. 岡崎部隊、京安鎮(臨汾南方十里)に進出せり。
2. 小林部隊、張極鎮を突破襄陵に前進せり。
3. 山西省北部の我が軍、蒙古軍と協力し河曲に迫れり。
4. 山西省の支那軍續々歸順せり。

イ 李英軍(中央第一戦區遊撃隊を首班とし林縣にありし一萬の兵)。
ロ 孫殿英軍(武安北方册井口に在りし大部隊)。

三月二日

1. 石黒部隊、沁水(臨汾東方)を占領せり。
2. 同蒲線南下中の金剛快速部隊、曲沃を突破せり。

三月三日

3. 岡崎部隊、汾城(太平)を占領せり。
4. 若宮部隊、濕縣より對岸の鞏縣兵工廠に對し砲撃を加へたり。

三月三日

1. 山東省沂州に向け進撃中の小堀部隊、大店鎮を突破省境の呂家庄を占領せり。
2. 我が軍再度毒瓦斯工場として有名なる鞏縣に對し砲撃を加へ之を爆破せり。

三月四日

1. 山西省戦況左の如し。

- イ 小林部隊、曲沃西南方の古城鎮に進入せり。
ロ 森本部隊先遣隊、候馬鎮(曲沃西方)を占領せり。

ハ 金岡快速部隊、同蒲線の要衝聞喜を通過南進せり。續いて遼山部隊入城せり。
ニ 汾河に沿ひ西進中の岡崎部隊稷山の敵を殲滅せり。

三月五日

1. 岡崎部隊、石底鎮を占領、引續いて長驅河津を占領せり。
2. 金岡部隊、要衝安邑(運城)縣城を占領せり。
3. 我が空軍鄭州・禹州(河南省中部)を空爆せり。

三月六日

1. 山西省北部の久野村・千田・岩田部隊、五花城を突破河曲を占領せり。
2. 金岡快速部隊、同蒲線の終點蒲州城を占領せり。
3. 山西省要地神池・五寨を攻略せる一宮部隊、一路南下崞嵐を占領せり。
4. 岡崎部隊、河津西方黄河河畔の禹門を占領せり。

三月七日

1. 山西省最南端の風陵渡(黄河河畔)を占領せり。

2. 一部隊は固鎮(河津北方)に進出殘敵を掃蕩せり。
3. 我が軍、屯留西方山地の張店鎮に進出せり。
4. 本日を以て山西省の大部を平定し、一部殘敵を殘すのみなれり。

三月八日

1. 全島時局克服懇談會を臺北に於て開催せり。
2. 山西省南端の蒲州に次ぐ要地芮城・平陸を占領せり。
3. 金岡部隊、黄河を突破對岸の潼關に進出せり。
4. 京漢線西北地區掃蕩中の我が部隊、河北省東北遇の阜平を占領せり。
5. 湖北省襄陽・西安・鄭州に空爆を加へたり。

三月九日

1. 經登部隊、臨汾西方蒲縣附近に於て敗殘兵を擊破せり。
2. 金岡部隊、潼關に對し砲撃を加へ停車場、鐵道其他軍事施設を粉碎し交通を遮斷せり。

(以下次號)

國策寫眞懸賞募集

臨時情報部

寫眞報國の赤誠に燃ゆる

全島カメラマンに告ぐ

時局は當に長期作戦の新段階に入りました。而して本島の地位は益々重要性を加へつつあります。此の秋に當り全島民をして皇國民たるの自覺の下に、時局に關する正しい認識を深め、舉島一致南方生命線確保の熱烈なる念願を起させ、更に内外地在住一般國民に對し臺灣の實況を紹介宣傳し、且戰時體制下に於ける臺灣の重要性を再認識せしめる爲、左の要綱によつて優秀なる寫眞を募集します。

寫眞報國の熱意を以つて奮つて御応募下さい。

募集要項

- 一、題 材
(1) 皇民化運動の實況(過去と現在とを對比すること)
(イ) 大麻奉斎正廳改善(舊正廳と舊式禮拜堂)
(ロ) 門松・梅の迎春(門松其の他と舊式迎春)
(ハ) 和洋服に改められつつある現在(臺灣服の種々相)
(ニ) 國語學習より常用(一書房と臺灣語)
(ホ) 文化生活泉民生活(一過去の生活諸相(例神社と廟))
(ヘ) 八紘一宇の聖旨宣明(一)

- (ト) 其他適當と認むるもの
註、總べて本島人及高砂族を取材の主體とし、(イ)より(ホ)迄は現在と過去とを以つて一組とすれども、必ずしも一組なるを要せず、片方のみにても可なり。
- (2) 臺灣の資源(例、農産、水産、鑛産其の他)
臺灣戦後の赤誠(例、慰問及慰問品、獻金、資糧愛護相互扶助其の他)
- 二、取 材
題材に則し、國民啓蒙國策宣傳に關するものたる事。
- 三、様 式
(イ) 寫眞は一題目一葉にても可なるも成るべく數葉を以て一組とする組寫眞なること。「六ツ切」迄の印畫の大きさは「キヤム」以上、「六ツ切」迄とし、且可及的明瞭なるものなること。
(ロ) 同一寫眞に付き必ず三葉提出し、且一葉毎に題名と詳細なる説明及住所氏名、撮影地(臺灣に限る)を明記すること。
(ハ) 四月二十日以前に審査委員及委員數名を委嘱し適當なる審査員を委嘱し、四月二十日以前に審査員の見込(當部發行部、新聞、ラジオ、ニュース)に掲載す。
- 四、審査 表
審査員の見込(當部發行部、新聞、ラジオ、ニュース)に掲載す。
- 五、入選作品の賞
一等賞 五〇圓 二等賞 三〇圓 三等賞 一〇圓 四等賞 五圓 五等賞 二圓 六等賞 一圓 七等賞 五圓 八等賞 二圓 九等賞 一圓
- 六、賞 金
一等賞 五〇圓 二等賞 三〇圓 三等賞 一〇圓 四等賞 五圓 五等賞 二圓 六等賞 一圓 七等賞 五圓 八等賞 二圓 九等賞 一圓
- 七、其他
(イ) 寫眞は出来るだけ普遍的、動的にして、變化ありしめ、其の説明は寫眞の内容を明瞭ならしめ、且其の不足する所を補ふが如き文章を以つてすること。
(ロ) 應募作品の版權は當部の所有とし一切返戻せず。應募作品は臺灣總督府臨時情報部必ず郵送のこと。

郵報
昭和十二年九月二十日第三號
昭和十三年三月二十一日
每月一日、十一日、廿一日發行
第二十號

昭和十三年三月十九日印刷
昭和十三年三月二十一日發行
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地
印刷人 加藤 豊吉
臺北市京町二丁目四十三番地
印刷所 小塚本店印刷工場